

社会情勢に合わせ、子どもの環境における過度な感染対策の見直しの検討を求める請願

《請願趣旨》

コロナ禍で日常生活に様々な制限が課されるようになりました。感染対策に重きをおいた生活が2年あまり続いています。少しずつ子ども達に様々な影響が出始めていると考えます。未来ある子ども達が健やかに成長してほしい。その時期にしか身につけられないこと、その時にしかできない成長の機会や経験すべきこと…子ども達の「今」を大切にできる地域社会を望みます。

《請願内容》

- 1 子どもの健やかな成長・教育や保育の質を必要以上に落とさないことを第一に考える学校・園の運営を行なってください。
- 2 身体的や精神的な理由などでマスクを着用できない子どもや、マスクを常時着用することによる健康と発達を損なうリスクを懸念し保護者が子どものマスクを外す選択をした時、それぞれの事情に寄り添い、その選択を尊重してください。また、マスクをしていないことが理由で学校や園に行きづらい状況を作らないように配慮することを各クラス、学校や園全体に周知してください。
- 3 「体育の授業や部活動など運動を行う場合」「気温・湿度、暑さ指数が高く熱中症などの健康被害が発生する恐れがある場合」「夏季に置ける登下校時」には身体的な距離の確保に関わらずマスク非着用を推奨することを各学校や園に周知するとともに、地域住民にも周知を行ってください。
- 4 給食時の黙食について、大人の会食制限及び解除に合わせ、学校や園での給食も同様の対策に緩和してください。